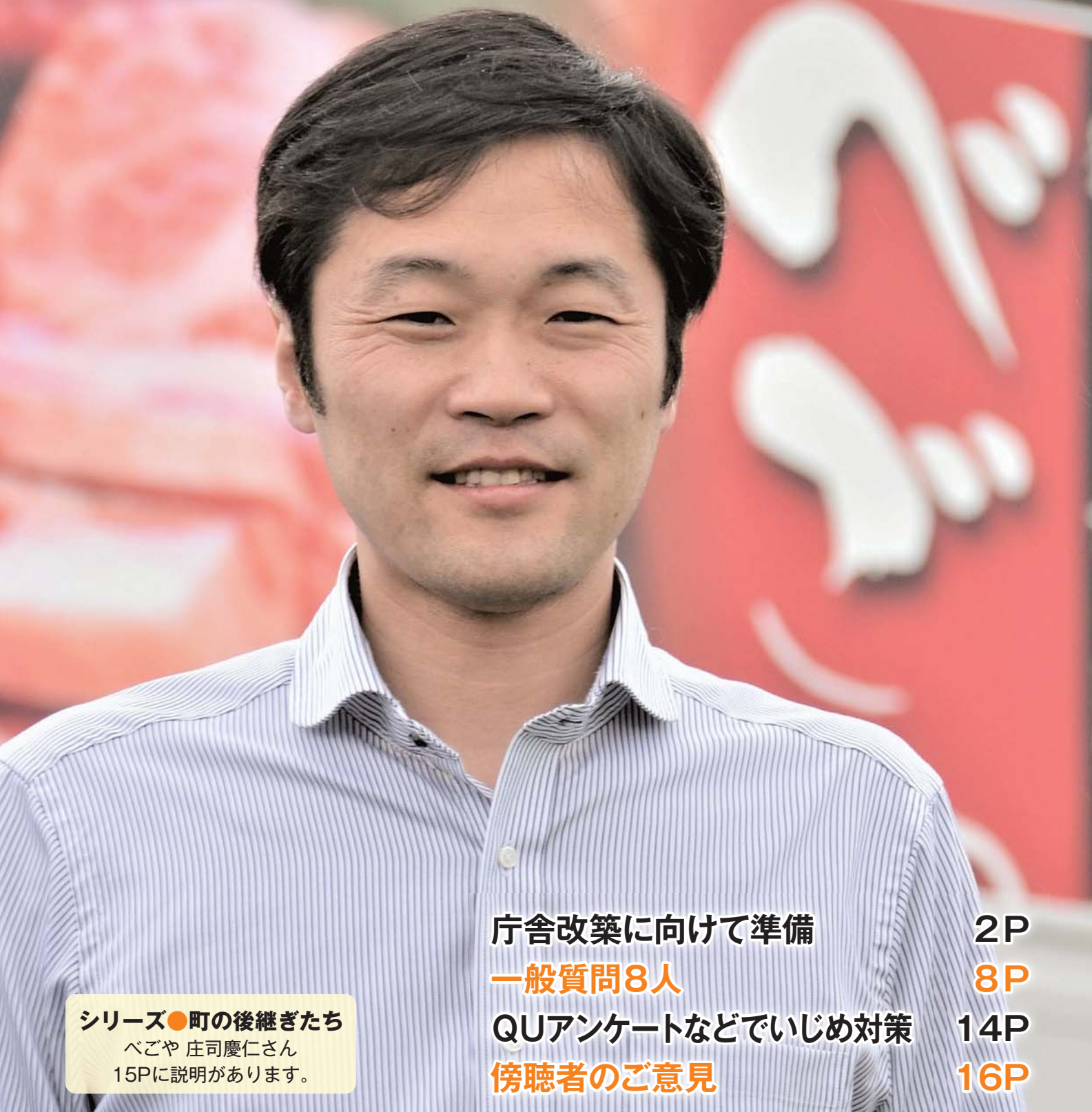


かほく議会だより

第95号

2017年4月28日



庁舎改築に向けて準備 2P
一般質問8人 8P
QUアンケートなどでいじめ対策 14P
傍聴者のご意見 16P

シリーズ●町の後継ぎたち
べごや 庄司慶仁さん
15Pに説明があります。

<http://www.town.kahoku.yamagata.jp/1050.html>

山形県河北町議会 〒999-3511 山形県西村山郡河北町谷地戊81 ☎0237-73-2119 編集／広報広聴常任委員会

わたしの一言

傍聴された方よりご意見等を伺いました。一部を紹介します。

Q1 議会傍聴に来られた動機は。

- 広報かほくと同時に渡していただいたチラシ、仲間から誘われました。
- 文化教室の学習計画より声があり、是非傍聴したいと思い参加しました。
- 議会からのお知らせ「傍聴してみませんか」に触発されて。
- 東日本、熊本震災の教訓を当町の発災時の町の要となる庁舎の早期取組みについて確認など。

Q2 議会を傍聴した感想は。

- 何回か傍聴していますが、傍聴者も少しずつ増えて来たようで町に対しての関心が高まったようです。
- 希望、町の方より各学校（特に高校）の方へ企業訪問を進めては、就職が決まった例もあります。
- 充実したものが多かったと思う。慎重審議に感謝します。

Q3 「かほく議会だより」について感想を。

- 一般質問以外の質疑についても、質問者の議員氏名、答弁者の役職名を明示してほしい。町民（有権者）としては、議員個々の活動を知りたいところだから。
- 大変細やかに書いており参考になりますが、やはり現場（議場）で聞いた方が実感があり、勉強の場となり学ぶことが沢山あります。
- 議員の方が、町民の為に一生懸命に仕事をしてくださっている事が解ってためになります。

Q4 あなたが議会（議員）に望むことは。

- 暮らしやすいようにして貰いたい。毎年、皆さんが齢をとっていくので現実を見て下さい。
- 町の行事に議員参加が多く見られないようです。短い時間でも顔を出せば町民からの視線も良くなる。
- 皆さんの真剣さが伝わって来て大変勉強している感じです。今後も町のため、私たちの関心ある事柄に問題点を見つけて声を出し質問に励んで下さるようお願いします。
- 議員の方々が、大いに勉強している様子が良く解ります。今後も一層頑張ってください。

Q5 その他、町議会に関するご意見ご要望は。

- 町の発展のためには、議員は建設的な意見を出すように心がけて欲しい。
- 一年間の季節の中で冬が一番大変なのです。雪片付け町内で除雪が出来るように協力して下さい。
- 資料にはなるべくカタカナの字が分かりにくいので（日本語）入れて下さい。
- 傍聴者にとっては、全然理由や原因が分からない議事（一般質問）進行の中断。その結果として、予定質問の一部先送り。途中退席せざるを得なかったのは不本意である。一般質問予定者が今回は11人いるのだから第1日午前3人、午後3人、第2日午前3人、午後2人と言うように、予め議会計画を立てるようにして欲しい。

編集後記

かほく議会だよりの基本方針は、議員自らの編集です。年4回の定例会終了後に町議6人で担当分担割りを決め、執筆から撮影、編集、校正と慎重に作業を進めます。特に見出しには時間を割き伝えたいことが瞬時に目に飛び込むよう考えます。また一般質問した議員には役場執行機関との緊迫感あるやりとりが紙面に伝わる様な原稿執筆を依頼しています。議会傍聴者も増加傾向にあり嬉しく思っています。「開かれた議会」を目指して行政、議会用語は解りやすく多くの町民に読んで貰うため構成は町民目線で行い、また委員会活動「見える化」など今後も更なる充実に努めます。（よしみ）

広報広聴常任委員会

委員長 木村 章一
副委員長 吉田 芳美
委員 齋藤 隆
委員 松田 收作
委員 石垣 光洋
委員 東海林信弘

印刷／株式会社武田印刷



庁舎改築に向けて準備

一般会計予算 88億5100万円

3月
定例会

特別会計	
名称	歳入歳出予算額
国民健康保険	23億7,390万円
西里財産区	50万円
農業集落排水事業	2,353万円
公共下水道事業	9億8,629万円
介護保険	21億4,394万円
後期高齢者医療	2億1,109万円

水道会計（企業会計）	
収益的収入	5億2,998万円
収益的支出	5億103万円
差引額	2,895万円

（剰余金は積立）

資本的収入	2,064万円
資本的支出	1億3,817万円
差引額	△1億1,753万円

（不足額は損益勘定保留資金などで補てん）



学童保育溝延さくらクラブが旧溝延幼稚園に移転

3月定例会が3月3日から14日までの会期で開催。
新年度予算の議案審査を予算審査特別委員会に付託、委員会の採決後本会議で議案を可決しました。
予算の主な内容を紹介します。

庁舎改築に向けて

今年度初めには、外部有識者による検討委員会を立ち上げ、建設場所の特定へ。庁舎建設の新しい財政支援措置を活用し進める。

商工業振興

商工業振興資金貸付金の活用を促進し、経営の安定化と設備投資などへの資金需要にこたえていく。

起業支援

商工業者と農家などが連携して行う事業活動や、町の地域資源を活用して、新規事業に取り組む起業者と新たな商品開発やイベントの開催などを支援。

農業

10a当たり7500円の米の直接支払い交付金は29年度までの時限措置として実施。

平成30年度での廃止と、農政大改革を踏まえ、主食用米を主とした産地化と特化した戦略作物を組み合わせた複合経営が定着できるように支援。

地域活性化

これまでの協働のまちづくり活動事業費補助に、新しいまわり支援事業費補助を加え、地域の活性化支援を行うもの。

お試し移住体験事業

移住定住の展開を図る。

地域おこし推進事業

5名の地域おこし協力隊員を募集。紅花の通年栽培や商品開発などを通じて地域産業の活性化や、町の情報発信を行う。

ふるさとづくり寄付事業

ふるさと応援基金に10億円の積み立てを行い、返礼

品に関連する費用を計上。ふるさと納税はいつまで継続されるか不透明。

町の財源確保と、返礼品による地域経済への効果は絶大である。

知恵を出して返礼品を準備し、寄付金の使途については中長期的な視点で運用。

河北すこやかセンター費

29年4月1日に、旧西里幼稚園に河北すこやかふれあい交流センターを開所。障がい者の作業所と、地域住民の交流スペースを併設した施設に改修。

日常的に障がい者と触れ合い、生活できる施設のモデルに。

すこやか保育事業費補助金

町民税非課税世帯に対する0歳児保育負担軽減のための補助や、1、2歳児の保育支援の補助。

医療給付費

河北町独自の子育て支援策として、中学3年生までの医療費完全無料化を平成26年7月から実施。

国として実施すべきものとして強く要望。

子育て支援センター費

町の地域子育て支援拠点事業として、つどいの広場運営や多目的こども空間管理運営、一時預かり促進事業を委託。

かほくあいこども園、ひなのこども園に併設する地域子育て支援センター、病後児保育施設などの運営費用。

溝延さくらクラブ移転旧溝延幼稚園に4月から

国民健康保険

平成30年度から財政運営の責任主体が県に移行。

産直施設等の建設へ

J Aさがえ西村山が進め、今秋完成予定の産直施設に、農家所得の向上と、河北町の産業振興のための補助。

ALTを2名に

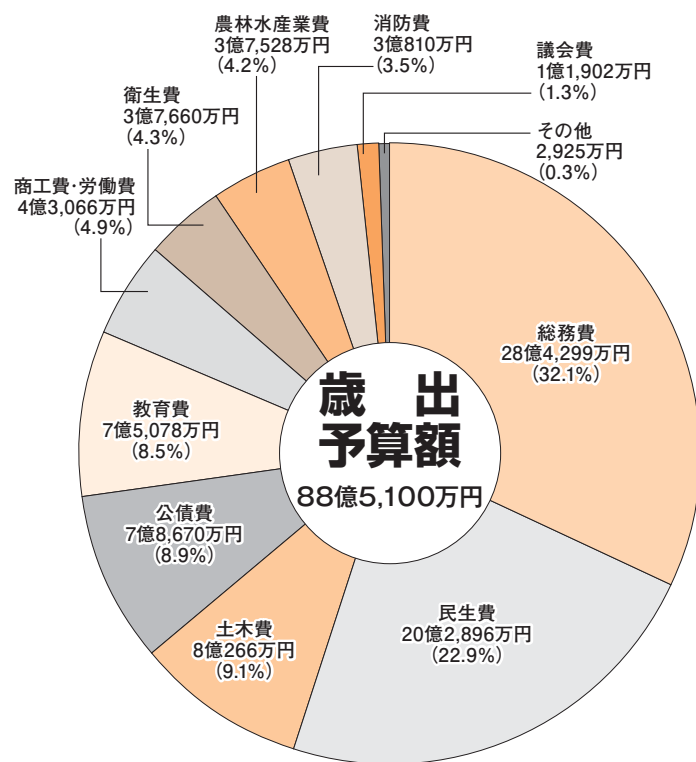
ALT（外国語指導助手）2名、小学校ではAET（英語指導支援員）2名を配置。

放課後児童クラブが活用できる施設に。

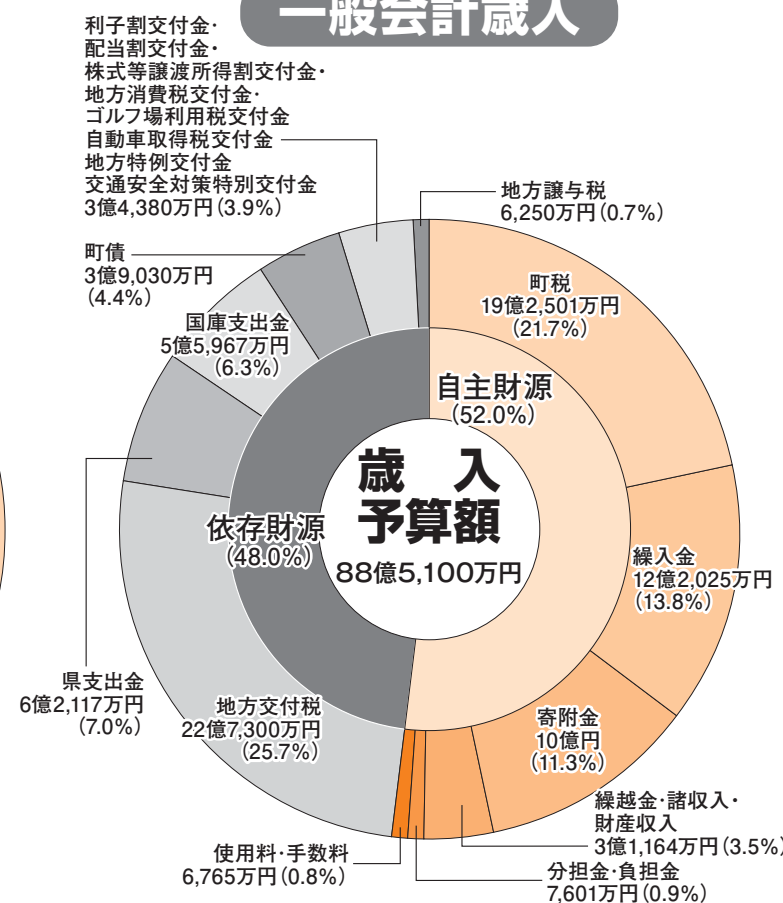


観光も地域連携でがんばります

一般会計歳出



一般会計歳入



()は構成比率

こんな質疑がありました

予算審査特別委員会は、委員長に横正義議員を選出し、審査では、一般会計と国保、後期高齢者医療保険は賛成多数で、西里財産区、農業集落排水、介護保険、公共下水道の特別会計と水道事業会計の予算は全会一致で可決しました。また、一般会計、国保、農業集落排水、公共下水道、介護保険、後期高齢者医療保険の特別会計補正と水道事業会計の補正は全会一致で可決しました。条例などの関係では、8件の一部改正を全会一致で可決しました。（審議結果は15P）

以下に質疑の主なものを紹介します。

役場改築は32年度完成へ 国の財源支援を活用



改築の検討が進む役場庁舎

問 町役場庁舎の整備関連費用が計上された。今後のおおまかな日程はどう考えているのか。
建設場所をどのように検討するのか。

総務課長 河北町の役場庁舎は耐震度が低く、平成33年度に改築完成を想定していたが、それを32年度完成に前倒ししたい。

最近、熊本地震を受けて、国に期限付きの庁舎改築支援の制度ができた。従来、庁舎改築には国や県の財政支援がまったくなかったが、この制度では2割前後の財源支援がある。ただし、32年度までに完成する必要がある。

NHKのど自慢河北町大会 5月7日サハトべに花

問 NHKのど自慢河北町大会が計画されているが、どのように準備したのか。
生涯学習課長 以前から働きかけていて、年末に動きがあり、2月に確定した。サハトべに花にて、5月7日が本選で、6日に予選会があり250人ほどが挑戦する予定だ。
6日の予選会は、観覧自由と聞いている。

ごみ収集所の改修にも助成へ
問 町内会のごみ収集所の整備補助金はどんな場合に適用になるのか。
環境防災課長 これまでごみ収集所の新設と更新に助成してきたが、29年度からは改修にも助成する。

道の駅東側堤防の紅花マークは補修を
問 町の玄関口、道の駅河北東側堤防の階段にある、町のシンボルマーク、紅花マークが傷んでいる。対応策はないか。
都市整備課長 管理する県の事務所では、河北町が補修してくれるなら、いいのではないかと云っている。町として検討したい。



町外からも利用可能になった病後児保育

国保のプール利用券入湯券と共通にせよ
問 国保の保健事業で、28年度は町営プールの利用券配布となったが、町民の評判が悪い。
以前のひなの湯入湯券とプール利用券の共通券にすべきではないか。
税務町民課長 以前国保で配布したひなの湯入湯券は5割の利用があった。



プールで楽しく健康づくり

庁舎改築担当の係を新たにつくり、建設する場所を検討したい。

検討委員会を立ち上げて検討したい。

プール利用券は1割の利用だが、29年度も町民の健康寿命を延ばすため、プール利用券にしたい。
2年目の状況をみて、どうするか考えたい。

月山堂開発の計画になぜ町予算があるのか
問 町の都市計画にないのに、月山堂開発の計画になぜ町の予算をつけたのか。
都市整備課長 基本的には用途区域が優先するが、現に行われる計画がある場合、用途変更の許可が下りたら速やかに対応できるようにするものだ。

指定管理の人件費見直し始まる
問 図書館の指定管理が5年ごとの再契約を機会に、低すぎると問題の人件費見直しが盛り込まれた。
どんがホールなどすでに指定管理契約をしたところの人件費も、見直すべきではないか。
政策推進課長 長期継続契約の賃金のあり方は、課題としたい。

病後児保育の対象拡大町外からの通勤者も
問 地域子育て支援センターと併設されている、病後児保育の対象が変わったがどんな内容か。
健康福祉課長 病後児保育の対象を、これまでは町民のみだったが、町外から町内に通勤する場合も利用可能に拡大する。

産直へ1億円の補助 産業全体の振興に

問 農協の産直施設に1億円の補助金を計上しているが、寒河江西村山で初めてのことだ。

出荷する農家所得が向上すると、町の産業全体に振興の影響がある。議決があれば、その後はいねいに説明していく。

町長 町民はなぜ町が補助金を出すのか、理解できない。産直施設が稼働して、

国保の全県1本化高い税率はそのまま
問 国保は平成30年度に全県が1本化されるが、税率が一律になるのか。
河北町国保の1人当たりの医療費は県内で10番目のに、税額が2番目に高い状況を改善すべきだ。
税務町民課長 市町村などの税率は一律にならない。課税対象から資産割が外され、所得割、均等割、世帯平等割の3方式になる見通した。
河北町国保の今年度の税率は現行を維持する。

リンゴなど食害熊の捕獲器購入へ
問 熊の捕獲器の予算があるが、熊の目撃状況はどうか。捕らえた熊はどのように処分するのか。
農林振興課長 28年度中は8回見かけ、さくらんぼやリンゴの食害があった。28年度は捕獲器を猟友会から借りたが、29年度に2つ購入する。
捕獲した熊は、現地で埋設処分する。



町のシンボル紅花マークの化粧直しを

LED助成の最終年度 車80台分の節減効果

問 防犯灯のLED化助成は最終年度となるが、全部が終わるか。
LED化の効果はどうなっているか。
環境防災課長 町内会の約2000灯のうち78%が終

わっている。

すでにLED化した町内会の1518灯と、町の436灯の効果は、燃費10km/ℓで年間1万km走る車の80台分の節減になる。



紅花の水耕栽培の準備進む(旧谷地西部保育所)

**ようこそ赤ちゃん
応援の紙おむつ券**
問 母子保健事業の記念品とはなにか。
何人分を考えているか。

健康福祉課長 「ようこそ赤ちゃん」という県知事肝いりの応援メッセージギフトで、河北町では紙おむつ券を120人分準備する。

地域おこし協力隊 5人募集は大丈夫か

問 29年度は地域おこし協力隊として5人を想定しているが大丈夫か。

28年度に応募者がいなかった理由を検証したか。調整役が必要だが、どんな活動をしてもらうのか。

政策推進課長 紅花おとめとして3人で、そのうちの1人はまとめ役を予定。

紅花の水耕栽培を試したり、河北町の魅力をアジアに発信してもらいたい。

他の2人は、受け入れ態勢が整ったので、就農を希望する方に移住してもらいたいと考えている。

町広報をスマホへ メールマガジン配信

問 町広報のメールマガジンをスマホなどへ配信する計画と聞くが、町広報との選択制にしくてもよいのではないか。

政策推進課長 メールマガジンの配信先3万件までは同じ費用だ。

配信は、町広報と両方選択、夫婦別々のスマホなどへ、また町広報は不要の選択も有り得る。
6月頃から配信したい。

町委託のNPO職員 労働条件見直しへ

問 嘱託職員や町が委託元となるNPO職員などの労働条件を早急に改善すべきではないか。

総務課長 同一労働同一賃金という観点から問題視されている。

賃金のほか、通勤手当や一時金の支給など雇用形態見直しも求められている。

こども園保育士の 正職員化が進む

問 認定こども園の整備事業費補助金2360万円は、有効性を説明できない。

ゼロ歳児の高い保育料を他市町村並みへ引き下げ、すべての子どもの保育料引き下げ、保育士の待遇改善などに振り向けるべきだ。

健康福祉課長 補助金の効果で、安定してこども園を経営してもらっている。
半数以上臨時だった保育士の正職員化も進めていくと聞いている。

谷地橋下流の桜 土壌の入れ替えを

問 谷地橋の下流左岸の桜並木は土壌が悪く、とても育ちが悪い。

思い切ってすべての桜の根元の土を入れ替えすべき

ではないか。

都市整備課長 枯れて植え替え予定の桜もあり、ご指摘のように育ちが悪い。業者に土壌を見てもらう。



育ちが悪い2011年に植えた桜並木

居場所づくり3拠点
問 有料ボランティアなどによる、固定的な高齢者の居場所づくりについて、どう考えているか。

町長 高齢者の語らいの場所や居場所づくりとして、西里幼稚園跡地や溝延幼稚園の学童保育の使用スペース以外の施設など、3つの拠点を考えている。

英語教育の充実 ALTなど増員に

問 英語教育を充実させるということだが、具体的にどのようなになるのか。

学校教育課長 ALT、AETを29年度に増員する。小学校の英語授業を教師と2人で行う。

できるだけ長く学校にいて児童とふれあってもらう。

教育長 5、6年生は週2時間の英語の時間。3、4年生は週1時間で、今後、指導体制を整えていく。

小学生の時に英語に慣れ親しみ、中学校ではなるべく授業全部を英語で行うことにしている。

反対

木村章一

ふるさと納税寄付の

活用で子育て支援を

ふるさと納税で12億円の寄付を獲得し、返礼品による町内産業活性化と、2億円超の財源を獲得した。

他市町村ではこれをきっかけに、給食費無料化など子育て支援で何としても人口減を食い止める強力なメッセージを発信している。

一方、河北町ではすでに実施していた事業などの財

源に繰り替え、新たな取組みがない問題がある。

ゼロ歳児対策は見送り

県内の自治体から置いてきぼりにされたゼロ歳児の保育対策は、今年度も見送りされ大問題だ。

河北方式の認定こども園の整備事業費補助金はとも問題で、補助の狙いと効果がまったく分からない。

人口増に果敢に挑戦を
暮らしやすく活気にあふれ魅力ある町にして、人口増に果敢に挑戦すべきだ。

討論

平成29年度の一般会計予算

賛成

丹野貞子

人の流れを作る予算

29年度予算は移住・定住支援と交流人口の拡大など人の流れを作る取組みが随所に現れ、人口増へと結びつくことを期待する。

産直施設と加工場整備

今年秋には、待ちに待った産直施設がオープン予定である。町の補助金により会員増と農産所得向上や6次産業の掘り起こしで賑やかな施設になるよう願う。

新しい祭り支援の新設

協働のまちづくりの支援を受けてきた団体が、期限の3年を終えても活動が継続できる新しい祭り支援補助金の新設は、まちづくり

に頑張っている団体にやる

新庁舎建設は町民意見を

町民の関心が一番高い事項である。タイミングよく町民に説明し意見を聞き、町民に喜ばれる庁舎が建設されるように望む。

切れ目ない子育て支援を

そのために、子育て支援と教育環境の充実と強化。

高齢化に苦悩する農家支援や商工・サービス業の仕事おこし支援。

町民生活を町が大切に支えていると示せる雪対策、地震や洪水対策の強化。

高すぎる国保税に一般会計から法定外繰入の対応。非正規公務労働の待遇改善などが必要だが、いずれも不十分だ。

以上、予算案に反対する。

ふるさと納税に期待

28年度に約12億円もの寄付をいただいた実績は素晴らしい。制度が続く限り町民や議会からのアイデアも取り入れますます健闘いただくことを期待する。

以上、賛成討論とする。



町からメールマガジンが届きます

新規開設眺葉の家

申込みと待機者緩和は

定員29床 申込み77人
待機者は169人で横ばい



吉田 芳美 議員

問 地域密着型「眺葉の家」への申込み状況を伺う。

町長 77人で男24人女53人90歳以上30人で平均は86歳。

問 町の特養入所枠は新規含め4施設で258床だ。

65歳以上の高齢化率が高まる中で受け皿不足だ。

地域福祉を必要時に受けられない待機者の厳しい現実がある。大江町は人口が9千でベッド数が260床で待機者はたった13人だ。

町長 高齢者は増加しているが認定者は要介護で横ばい。在宅介護と比較すると給付費が約3倍、今後の施設開設は慎重に検討する。

除排雪の新たな取組み空き地提供者に減免を

問 地域内にある一定規模の空き地を冬期間の堆雪場として町内会に無償で貸した場合、翌年の固定資産税の一部を減免する考えはないか。

町長 住宅地内の雪捨て場の必要性は認識している。

問 町内会が自ら実施する共同除排雪に対し機械等の手配に要する費用の一部を助成する考えはないか。

町長 町内会と事前に協議しながら対応する。

字月山堂大型開発計画は

問 河北病院東側の田んぼ10ha(3万坪)民間が計画中の大規模開発のその後は。

町長 事業者主体で地権者

村山広域水道の
供給単価の検討状況は
今後10年間1トあたり
6円安くする検討



榎 正義 議員

問 山形県企業局は村山広域水道を含む4広域水道の供給単価改定を検討しているところだが、検討状況と本町水道料金との関係伺う。

町長 平成30年度から10年間の供給単価改定に向け検討中で、3回の検討会が行われ、村山広域水道は1ト当たり6円の値下げの検討が示されている。また、本町の責任水量1日当たり6300トについても今後の

人口減少、商工業の現状から見直し検討も予測される。

供給単価が安くなれば料金の値下げを

問 値下げ単価で受水費を試算すると年間2000万円の減額、29年度の収益的収支で2800万円の黒字、水道会計の残高7億6000万円を考えれば水道料金の見直しも考えるべきと思うがどうか。

町長 現在の水道料金収入は、人口減少、節水型の家庭電化製品の普及、製造工業の地下水利用で厳しい状況にある。

耐用年数を過ぎた老朽管の更新、耐震管への布設替えも控え水道料金への跳ね返りは考えていない。

問 本町にある2か所の自己水源の取水量を増やすことはできないか伺う。

町長 造山、治部橋の水源は1日当たり最大1500トの取水可能であるが、県から許可されている事業認可では治部橋水源は1

20トとされている。

自己水源はあくまでも災害時に村山広域水道から受水が停止した場合の応急対策と考えている。

総合戦略に掲げた数値目標の検証は

問 河北町総合戦略は平成27年10月に少子高齢化に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけ、安全・安心の町づくりをめざし策定され、

達成する具体的数値目標を示しながら毎年検証するとしているが27年度、28年度の検証結果について伺う。

町長 総合戦略で掲げた具体的数値目標の検証は、まず内部で検証し、3月中旬に河北町総合戦略検証委員会を立ち上げ検証していくことにしている。

産地ブランドの確立で

観光との連携図れ

産業観光という新たな戦略で取組んでいく



漆山 光春 議員

問 河北町のスリッパは、地場産業としての歴史とノウハウに裏打ちされた、輸入品と一線を画す品質、デザインも含め国内外の市場で高い評価を得ている。

町長 現在、紅花資料館の物産館などで展示販売を行っており、今年秋完成の産直施設での展示販売を考えている。

また、工場見学や体験ツアーなど町の観光と結びつけた産業観光という新たな戦略で取り組んでいく。

町長 これまでの運営組織の在り方を検証し、関係団体との合意形成のもとで、組織化を図ることが大切と考える。

道徳教育がめざすものとは

問 文科省は「特別の教

問 地域づくりの一環として地場産業や伝統工芸士の技術継承、振興策の考えはどうか。

町長 かほくスリッパの地位を確かなものとして、匠といわれる熟練社員の技術継承について、業界関係者や職業訓練機関等と連携してその方法を確立していく。

問 町おこしのイベントと産業振興を目的に「世界スリッパ卓球大会」を再開すべきだ。

町長 これまでの運営組織の在り方を検証し、関係団体との合意形成のもとで、組織化を図ることが大切と考える。



眺葉の家スタッフです どうぞよろしく

等への説明会を複数回開催。

面積規模が大きく、開発に着手するまで様々な規制要件のクリアが必要。現時点では町民にお知らせする内容は事業者より受けていない。

JA産直秋オープン

公社の食事は断念

問 産直の開設時期はいつか。公社の食事処運営は撤退か。

成功に向け町民に期待感

を抱かせる広報をすべき。

またイタリア野菜の「産地消と販路拡大」に向けたJA産直、行政、イタリア野菜研究会の連携企画はないのか伺う。

町長 秋オープン、公社の食事処は諸事情により断念。

近隣の産直と差別化、他の施設にない商品を扱うことが重要と認識して連携を図って行く。



町内2か所の自己水源の有効活用を



東京ギフトショーに出展したかほくスリッパ(東京ビッグサイト)

科」として小中学校の道徳に新たな学習指導要領を告示した。

これまでの道徳教育との違いはどうか。

町長 小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から実施。「検定教科書」が導入され「評価」が必要となる。また、自ら「考える・議論する道徳」へと転換する。

問 教科化により期待される成果は。

町長 学習内容を議論し、熟慮することにより豊かな人生を切り開き、より良い社会を創る資質と能力を高める上で大きな役割を果たすと考えている。



細矢 誓子 議員

ふるさと納税活用して
ランドセルの無償配布を
恒久的財源確保に
ならないので困難

問 ランドセルが家計に重荷となり、無償配布の自治体もある。

保護者の経済的負担を軽減するため、全国的に無償配布事業が拡大しているが、県内無償配布の実態と支援状況はどうか。

町長 山形県内では、庄内町と白鷹町が実施している。庄内町では平成17年から、白鷹町では平成29年から実施する。

また、大江町や大蔵村など一部市町村では、入学祝い金なども支給している。

問 河北町での新入学児童への支援策はどうか。

町長 経済的理由によって就学困難と認められている児童及び生徒の保護者に対して、新入学児童生徒の学用品費を支給している。

問 現在、河北町ではランドセルを取り扱っている店はないが、納入業者団体の組織は出来ている。

まず、地元の商店に入ってもらう事が地元商店の活性化につながると考えるがどうか。

町長 白鷹町では、町内にカバン製造業者がいて、その会社のランドセルを使う事によって、町内商工業者の活性化につながったが河北町には、製造業者も販売業者もないので、活性化はあまり期待できないのではないかと考える。



ワイワイガヤガヤ ピッカピッカの1年生

**子育て支援を
定住促進を**

問 昨年度から実施されている子育て支援策と連携して、子育てしやすい環境づくりを構築し、定住促進策として活用してはどうか。

町長 ふるさと納税が順調に伸びて、1月31日現在で11億4千万円を超える寄付

であるが、いつまで続くかわからない。

ふるさと納税の寄付金は恒久財源の確保にはならないので、財源の活用を総合的に判断して、無償配布は困難と考える。

道の駅河北の
あり方見直しを
防災機能も兼ねるなど
検討すべき時期



木村 章一 議員

**地域の個性を
活かした道の駅に**

問 道の駅河北は平成5年、全国で最初に建てられた道の駅の一つだ。

当時は、通過する道路利用者へのサービスが中心だったが、近年は、農業・観光・福祉・防災・文化など、地域の個性、魅力を活かした道の駅にするなど、様々な取組みがなされている。

町民の所得向上や町おこしにつながるような、望ましい道の駅河北に変わらざるを得ない。

町長 道の駅河北は使いにくく、また国道から出入りにくい問題がある。

防災機能も兼ね備えた施設にするなど、あり方を検討すべき時期に入っている。

**ふるさと納税寄付で
思い切り子育て支援を**

問 ふるさと納税寄付金の活用で、寒河江市などの給食費無料化のような、思い切った子育て支援に取組んではどうか。

町長 これまで取組んでいる子育て支援事業などの財源に充当している。

寄付金活用は、恒久的な事業に、年間合計で1億円以内と考えている。

**12億円寄付の返礼品
米農家の所得向上を**

問 ふるさと納税寄付金は担当者の大奮闘で、26年度約1200万円、27年度約



交通安全の行事などにも活用される道の駅河北

1億2000万円、28年度は約12億円と10倍ずつの伸びとなり、返礼品により町内産業は賑わった。

町長 28年度は農協からはえぬきを1万俵、米穀集荷協同組合から1300俵を出していただいた。農協からの仕入れ単価などは、農家への還流があるように協議してみたい。

高齢者向けに
低木さくらんぼ栽培を



丹野 貞子 議員

西村山管内では
Y字仕立てを推奨

問 さくらんぼ生産農家の実態と管理、できなくなった畑の状況は。

町長 2015年農林業センサスによると栽培する意欲のない耕作放棄地は4・8haで5年前と同水準であるが、栽培農家の高齢化や世帯の事情により栽培管理ができず伐採したと聞く機会もあり果樹経営の困難さを実感している。

また、農地中間管理事業においても園地の貸し付けが進まない状況である。

省労力で

さくらんぼ栽培

さくらんぼ作り、ジョイント方式など低木栽培の実践について伺う。

町長 県ではさくらんぼ生産者の高齢化の進展をふまえ、低樹高栽培や省力軽労化技術の普及収穫ロボット

問 「高齢になってもさくらんぼ作りができる町」にすることに伺う。

町長 西村山管内の農業改良協議会では、Y字仕立てを中心に推奨している。これらの技術により高齢になってもさくらんぼ生産に取り組んでいただくことは、労働力不足が言われている中で大変重要で、町民の健康と生きがいにつな

がついていくものと考えている。

**0歳児保育料も
認可並みに**

問 0歳児から切れ目ない子育て支援を行う河北町にすべきだ。

町長 調査を行い、様々な補助などの支援策に係る費用、受け入れ施設などの状況について検討をしているところだ。



ジョイント方式の低木栽培「休眠期」と「収穫期」(右)



地域おこし協力隊へ期待

活動内容は

紅花の通年栽培・商品開発など 魅力を伝える



東海林 信弘 議員

を活用し河北町の魅力発信など、町職員と移住定住や観光に関するイベントへの参加を想定している。

河北町へ

住んでみませんか

地域おこし協力隊の応募状況は。

町長 残念ながら、応募期間を延長し再募集をかけたが、応募は無かった。

問 再募集はおこなうのか。
町長 29年度は、配置できるように努めていく。

地域おこし協力隊

へ期待

問 地域おこし協力隊の活動内容は。

町長 紅花の通年栽培の研究、紅花を活用した商品の開発補助、インターネット

要介護認定者の障害者 控除制度の周知徹底を

広報等で分かりやすく 周知したい



齋藤 隆 議員

等に記載する場合、分かりやすく周知したい。

問 要介護認定者で障害者（特別障害者）控除の対象者全員に、申請しなくても障害者控除対象者認定書を交付すべきと考えるがどうか。
町長 今後の研究課題としていきたい。

公契約条例の制定を

問 「公契約」とは、国や自治体が発注する工事や委託事業について、民間業者と結ぶ契約のこと。
町長 山形県をはじめ全国に広がる公契約条例についての認識はどうか。

町長 公契約に係る業務に従事する労働者の適正な労働条件を確保することにより、市民が豊かで安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目的とする条例であり、評価すべきものと認識している。

公契約条例の制定状況については、平成28年度現在、要綱や山形県を含む賃金に

し、国の河川整備計画に位置づけられるよう、強く働きかけていく。

築堤が

田井橋再架の前提

問 田井橋再架橋の促進状況はどうか。

町長 田井橋再架促進期成同盟会が設立されており、調査研究や関係機関に対して、要望活動をしている。

期成同盟会は、河北町と天童市で組織され、田井自治会と天童市の成生地区町内会連合会では、毎年合同研修会を実施し、大いに機運は高まっている。

※他にセルフメディケーション税制（市販薬を購入した際に所得控除が受けられる制度）についての質問もしています。

紅花の収穫作業

関する条項を設けない理念型を含めると全国で50を超える自治体が制定していると認識している。

問 まともな労働条件、適正な公共サービスを確保するために公契約条例を制定すべきと考えるがどうか。

町長 町では4月から条件付き一般競争入札で、新たに数値的判断による失格基

様式第1号(第3条関係)

障害者控除対象者認定申請書

年 月 日

河北町長 様

(申請者)住所
(本人又は扶養者)氏名 ④
(本人署名の場合は押印省略可)
※申請者が扶養者の場合
(本人との続柄)
連絡先

河北町要介護認定者の障害者控除認定に関する要綱第4条の規定により認定を受けたので、次のとおり申請します。

対象者	住 所	性 別	男・女
	氏 名	生年月日	年 月 日
	要 介 護 状 態 区 分 等		
	要 介 護 認 定 日	年 月 日	

年 月 日

障害者控除対象者認定の申請書

東根市外二市一町共立衛生処理組合議会報告

東根市外二市一町共立衛生事務組合定例会は、2月17日東根市議会議場で開催されました。

①補正予算の専決処分は東根市一般職員給与に関する条例の一部改正に伴うものです。

②組合職員の勤務時間、休暇及び育児休暇に関する条例の一部を国の法律改正に伴い整備するものです。

③組合規約を置賜公域病院組合が、置賜広域病院企

業団と名称を変更するものです。

④平成29年度東根市外二市一町共立衛生処理組合予算で総額歳入歳出それぞれ18億7889万円となり前年比2077万円で1・1%増となります。

河北町の負担金は1億2859万円で前年比5・8%の増です。

以上4議案は原案のとおり可決されました。

河北町ほか2市広域斎場事務組合報告

河北町ほか2市広域斎場事務組合議会定例会は2月20日、河北町議会議場で開催されました。

①斎場事務組合第2回補正予算で歳入歳出総額6000円を減額して総額9445万円とするものです。

河北町の負担金は2052万円で5万円の減額となりました。

②斎場事務組合予算は歳入歳出総額9176万円で

以上3議案は原案のとおり可決されました。

議会から町長に提言

西里財産区の木材活用 町も積極的関与を

議会は1月31日に田宮町長に、西里財産区に関し、今



後の財産区の運営全般と木材(杉材)の有効活用など、町として積極的に係わるように提言しました。

高齢者や障がい者が利用できる集合住宅を

議会はまた町長に医療介護連携による地域包括ケアシステムに関し、高齢者や障がい者が利用できる集合住宅を整備し、空き家や空き店舗等も活用して、高齢者の居場所づくりを推進することを提言しました。

河北議会だより受賞

県町村議会広報コンクールで、河北町の議会だよりは「佳作」を受賞しました。



よろしくお願いします

4月から議会事務局に、丹野菜依主任が異動になりましたので紹介します。

前任の高橋肇総括主任には大変お世話になりました。



〈3月定例会〉

議第23号～24号は3月臨時議会
(議長は採決には加わりません)

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	賛成…○ 反対…● 欠席…欠 退席…退														議長
		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	
議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議決結果	吉田芳美	松田賀好	石垣光洋	東海林信弘	榎正義	大場 勇人	漆山 光春	細矢 誓子	齋藤 隆	木村 章一	丹野 貞子	松田 收作	増川 修	岡田 桂司
議第1号	平成28年度 一般会計第7回補正予算の専決処分について 歳入歳出1,000万円補正 歳入歳出予算総額92億5,158万円 町道、公共施設等、除排雪に係る費用などの増額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
2	平成28年度 一般会計第8回補正予算について 歳入歳出3億2,828万円補正 歳入歳出予算総額95億7,440万円 紅花を活かした地域産業活性化事業、道の駅の修繕費用などの増額。	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
3	平成28年度 国民健康保険特別会計第4回補正予算について 歳入歳出1,678万円補正 歳入歳出予算総額23億6,325万円 社会保険料の確定、高額療養費の増額。	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
4	平成28年度 農業集落排水事業特別会計第1回補正予算について 歳入歳出225万円減額 歳入歳出予算総額2,332万円 処理施設保守点検業務委託料及び、樹木伐採委託料の減額。	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
5	平成28年度 公共下水道事業特別会計第4回補正予算について 歳入歳出1,355万円減額 歳入歳出予算総額10億23万円 維持委託料、補償金、最上川流域下水道事業負担金などの減額。	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
6	平成28年度 介護保険特別会計第3回補正予算について 歳入歳出8,963万円減額 歳入歳出予算総額20億5,360万円 介護認定審査会費、介護サービス等給付費などの減額。	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
7	平成28年度 後期高齢者医療特別会計第1回補正予算について 歳入歳出349万円補正 歳入歳出予算総額2億666万円 後期高齢者医療広域連合納付金の増額。	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
8	平成29年度 一般会計予算について 歳入歳出総額88億5,100万円 前年度より15億2,100万円 20.8%の増額。 新規就農者の確保、移住定住の交流人口拡大、地域包括ケアシステムつくり、役場新庁舎建設準備、地域おこし事業など。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	—
9	平成29年度 国民健康保険特別会計予算について 歳入歳出総額23億7,390万円 前年度より1億2,616万円 5.6%の増額。 健康づくり事業の実施・ジェネリック医薬品の利用促進など。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	—
10	平成29年度 西里財産区特別会計予算について 歳入歳出総額504千円 前年度より5千円 1.0%の増額。 役員報酬や印刷費、山検分や下刈り作業などの謝礼を計上。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
11	平成29年度 農業集落排水事業特別会計予算について 歳入歳出総額2,353万円 前年度より205万円 8.0%の減額。 処理施設敷地内の樹木伐採委託料の皆減、事業会計人件費分担金の減など。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
12	平成29年度 公共下水道事業特別会計予算について 歳入歳出総額9億8,629万円 前年度より242万円 0.2%の減額。 管渠建設と下水道施設維持・管理など。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
13	平成29年度 介護保険特別会計予算について 歳入歳出総額21億4,394万円 前年度より2,292万円 1.1%の増額。 地域包括ケアシステムの構築、健康づくり事業と連携し介護支援など。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
14	平成29年度 後期高齢者医療特別会計予算について 歳入歳出総額2億1,109万円 前年度より792万円 3.9%の増額。 高齢者人口増加に伴う保険給付費の増加及び、健康維持と医療費の抑制など。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	—
15	平成29年度 水道事業会計予算について 水道事業収益の予定額は5億2,998万円、水道事業費用は5億103万円。 給水戸数6,176戸 年間総給水量241万立方メートル。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
16	個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について 特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部を改正する。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
17	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の設定について 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児休業等の対象となる子の範囲を拡大するため、条例の一部を改正する。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
18	特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 町長、副町長及び教育長の給料の減額を平成30年3月31日まで1年間延長する。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
19	一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の設定について 県人事委員会の勧告等を考慮し、扶養手当の改定等を行うため、条例の一部を改正する。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
20	町税条例等の一部を改正する条例設定について 地方税法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、条例の一部を改正する。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
21	寒河江市西村山部介護認定審査会共同設置規約の一部変更について 介護保険法施行令の改正に伴い、介護認定審査会の委員任期を設定する規約の一部を変更する。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
22	山形県市町村職員退職手当組合理約の一部変更について 置賜広域病院組合が、平成29年4月1日、置賜広域病院企業団体に名称変更する。	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
23	平成28年度 一般会計第9回補正予算について 歳入歳出3,078万円補正 歳入歳出予算総額96億518万円 ふるさと応援基金積立金などの増額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
24	損害賠償の額の決定について 平成29年1月12日谷地工業団地内において、公用除雪車運転中に発生した物損事故に基づき生じた賠償額、37万7,095円の支払いを決定する。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—



区運営に関する協議報告書の趣旨を尊重する。さらに、共同管理条項を拡充し、財産区内杉材の有効活用を考えていくことなど、今後のあり方について財産区役員会と町の両方で話し合い、積極的に行政執行に反映させることを要請する。

事業チェックの視点
講師は、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏です。計画の経緯や関連性、経済性、有効性、効率性、住民ニーズなどのチェックが必要で、どの位の資源を投入し、何ができたか。出来たことによつて何が変化したか、チェックする必要があります。



いじめのない学校運営
各小中学校では、QU(普遍)の行動を振り返るアンケートを実施し、学級の雰囲気など、色々な角度で分析して、指導の参考にしていきます。

給食センターの役割
安全・安心な食事を提供するために、年度当初・長期休みなど、衛生研修を受講しています。食育について、栄養教諭が学校毎に月1回の、給食指導・食育の授業を実施しています。

調査の論点
①昭和29年の町村合併時に西里財産区が誕生、今日まで特別会計として継続。
②西里地区民1世帯年500円の協力金に対する不満。
③財産区管理会役員の高齢化と継続性が課題で、伐採期にある木材の有効活用

実態調査と懇談
5月13日、林道8キロ沿いの中で多くの杉が植林されている「越戸地区」を中心に現地調査(写真・上)。その後、財産区役員と懇談しました。

議員研修
行政側から提案された案件について、論点整理を行い、関連資料提出などを求め、監視機能を強化することが大切です。

外部有識者や学生なども交えて、モニター制度を活用するのも、ひとつの方法です。住民が納得するように、判断し決定していかねければならないと、全議員が再確認しました。



学力向上への取り組み
算数の学力が弱いので、教師からの働きかけが必要。問題に対して挑戦したくなるような工夫が大切と話していました。

杉材の有効活用などを提言
総務産業常任委員会

1月31日、町に対して行った西里財産区についての提言は次の通りです。

などの動きが見えない。

④地区民の山離れが進み、財産区そのものの存在が薄れ、町に移管できないかという声もある。

監視機能の充実と住民意見の反映

議員研修

議会は論点整理し住民意見の反映

QUアンケートでいじめ対策

厚生文教常任委員会